

## 「一家転住等」に伴う特例措置について

特例の対象は、「少年種別」とする。

1. 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③に抵触しないものとする。

（1） 特例を受けることができるのは、一家転住等やむをえない理由に限ることとする。

（2） 「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア 親の転勤による一家の転居

イ 親の結婚、離婚による一家の転居

ウ 上記以外に、やむをえない理由による一家の転居

※ 開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③・・・「前回の大会（都道府県大会を含む）に選手および監督で参加した者は、2大会以上の間を置かなければ、異なる都道府県から参加することはできない。」

2. 当事項に該当する選手がいた場合には、栃木県（転居先）競技団体予選会締切日以前に、次の手続きを行なうものとする。

（1） 当該選手は【様式3】により、属していた都道府県体育（スポーツ）協会会長および都道府県競技団体会長の承認（印）を得る。

（2） 承認を得た書類【様式3】について、原本を栃木県競技団体へ、コピーを（公財）栃木県スポーツ協会へ提出する。

3. 参加できる都道府県は次のとおりである。

（1） 転居した時点において、次に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加できる。

ア 転居先が属する都道府県の代表がすでに決定している場合

イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

（2） 転居した時点において、次に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加できる。

ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

### 手続きのフローチャート

